町内で捕獲されたアライグマ

（佐々木委員）農地整備の国の予算付けが大変厳しいと聞いているが、事業への影響は。

（桜井主幹）予算は相当厳しいが、補正予算で対応している。

【土木費】

（斉賀委員）23年度は大雪等で除雪には大変な苦労をされたと思う。町民からいろいろな声が聞かれたが、改善点は。

（及川主査）現状は委託先の判断で除雪を行っているが、町民の声を十分に聴いて、すぐ対応する様に検討している。

◆歳　入

（植村委員）税金の未収が、財産収入、公営住宅、保育料でも発生しているが、原因と対策方法は。

（瀬戸課長）対策本部を作って実施しているが、特効薬がなく、個別訪問、納めるための相談等を行っていて、毎月少額でも納付をしてもらっている。

◆総　括

（植村委員）ふるさと創生基金は、23年度決算で7億円を超したが、どれくらいの積立が必要なのか。また今後も積み増しをしていくのか。

（瀬戸課長）電源三法交付金5千万円を計画的に積んでいるが、歳出のまちづくり推進の案件がなく、毎年積み増しされている。今後基金の在り方、事業の在り方の議論が必要で、町民サービスに向けることが大原則と考えている。

（植村委員）町おこし事業ということで、将来構想を持った使われ方の検討は。

（宮本町長）酪農振興という事で農協からいろいろな構想が出てくるようなことも聞いている。積極的に協力したいと考えている。また新エネルギー関係では、太陽光発電設置の希望があれば助成を考えている。

（斉賀委員）電源三法交付金の中から以前町民に戻されていた8千1百円を次年度戻されてはどうか。

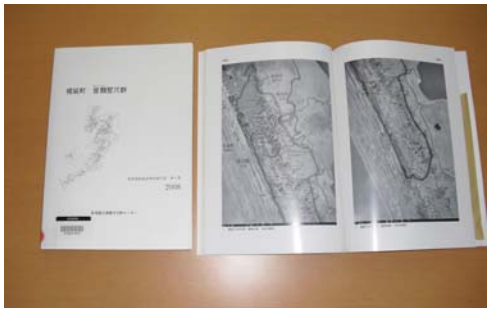
（宮本町長）今農業関係の方から大きな事業計画が出てくるようでもあり今のところ町民に戻すことは考えていない。

（無量谷委員）橋の修繕計画について、極度にひどい橋はあるのか。

（及川主査）架け替えが必要な橋はない。

（吉原委員）音類竪穴郡遺跡を今後どのようにするのか。

（兜教育長）国立公園の中なので人が現地に入っていくことができない。学校の副読本の中で明記し、図書室の中で閲覧できる資料として活用していきたい。


音類竪穴遺跡調査報告書

（野々村委員）町民のニーズに答えられたか。また、町長として点数を付けたらどのくらいか。

（宮本町長）以前は予算の枠を決めてやっていたが、今はそれをやめ、必要なことは、すぐにやっていくということで、一般会計40億を超える運営をしている。点数は自分で付けるものではないが、町民からは評価をいただいたと思っている。

（鷲見委員）地域担当者制度について一年経っても形が見えない。

（宮本町長）大変申し訳なく思っている。現職員数で進めることは難しい課題であると思っている。

〈特別会計〉
〈町立診療所特別会計〉

（斉賀委員）新しい施設となり、医療機器も新たに導入され、環境がどう変わったか。

　また、看護師不足についてどう考えているのか。

（岩川事務長）新しい施設になり、CT装置、X線のテレビシステムも導入され、利用者の利便性が向上した。

　また、こざくら荘と渡り廊下で繋がり、行き来がしやすくなるなど、職員も執務しやすくなった。

　看護師不足については、現在、募集している。

（斉賀委員）看護師不足対策として、奨学金を無償で貸してはどうか。

（鈴木課長）医療従事者に係る奨学金の貸し付けがあり、町内の施設に従事すれば免除となる。

（吉原委員）診療所になって、国からの交付税が減額されると聞いていたが、今後どのように推移していくのか。

（瀬戸課長）平成25年度までは経過措置として極端な減額はない。